

# 「オスプレイ撤去を」

## 北谷、今帰仁で住民大会



### オスプレイ配備を問う

【北谷・今帰仁】米軍普天間飛行場に配備されたオスプレイの配備に反対する北谷町民大会、今帰仁村民大会が30日開かれ、集まった住民がオスプレイの配備撤回を強く求めた。

北谷公園屋内運動場（北谷ドーム）で開かれた、オスプレイの即時撤去を求め、米海軍兵による集団女性暴行致傷事件に抗議する北谷町民大会（主催・オスプレイ配備に反対する沖縄県民大会北谷町実行委員会）には約800人（主催者発表）が参加。日米政府と米軍に対し、即時撤去と、日

米地位協定の抜本的改定、事件の被害者への謝罪と補償などを求める大会決議を採択した。実行委員長の野国昌春北谷町長は「われわれは自らの人権を自らで取り戻すしかない。子どもたちや地域一人一人の人権を守ろう」と述べ、日米西政

府に声を届けるため署名活動を行う考えを表明した。今帰仁村コミュニティセンターで開催されたオスプレイ配備に反対する今帰仁村民大会（同実行委員会主催）には約580人（主催者発表）が集まり、配備反対の決議と米海軍兵によ

る集団女性暴行致傷事件への抗議決議を採択した。実行委員長の与那嶺幸人村長は「基地のない今帰仁村だからこそ、その素晴らしさを語ることができる。オスプレイは断固として撤回を要求する」と述べた。

オスプレイ配備撤回を求め30日に開かれた北谷ドームでの北谷町民大会（左）、今帰仁村コミュニティセンターでの今帰仁村民大会（右）